

芸術文化の振興

新世紀とやま文化振興計画 (H30年改定)

新世紀とやま文化戦略推進事業 (390万円)

(「新世紀とやま文化振興計画」を改定し、概ね10年先を見据えた明確なビジョンに基づき、さらなる文化振興のための施策を着実に推進)

文化活動への幅広い県民の参加

文化を鑑賞・創造・発表する機会の充実

- ・公立文化ホールネットワーク支援事業 (1,300万円)
(公立文化ホールによる共同公演事業等を支援)
- ・内山邸の魅力発信事業 (270万円)
(観桜の会、観月の会、梅園茶会等)



内山邸 観月の会

【新】美術館等における大学生の常設展示観覧料の無料化、
企画展示観覧料の半額割引

・水墨美術館企画展の開催 (5,752万円)
(「名都美術館」展、「花鳥風月」展等)

【新】水墨美術館20周年記念魅力発信事業 (560万円)
(平成31年に開館20周年を迎えることを記念した絵画の制作)

・立山博物館企画展の開催 (1,441万円)
(明治150年記念「立山の明治維新」展等)

【新】立山博物館魅力発信事業 (200万円)
(子ども向けガイド冊子、ワークシートの制作)



県民芸術文化祭2017
オープニングフェスティバル

・とやま舞台芸術祭開催支援事業 (2,000万円)

・県民芸術文化祭開催事業費負担金 (1,820万円)

<春の県展、秋の越中アートフェスタ>

・県美術展開催事業費負担金 (1,180万円)
(美術作家の登竜門)



富山県美術展

・美の祭典 越中アートフェスタ
開催事業費負担金 (530万円)
(幼児からプロ作家までが一堂に参加)

・とやまの芸術家ふれあい公演事業 (650万円)
(若手芸術家の発表の場の提供、子ども・障害者・
高齢者が親しみやすい公演)



美の祭典
越中アートフェスタ2017

【新】障害者芸術文化活動普及支援事業 (970万円)(厚生)
(アール・ブリュットの更なる普及、障害者芸術文化の裾野の拡大)

次世代を担う子供たち、青少年の文化活動の充実

【新】次世代育成音楽ふれあい事業(2,100万円)
(室内楽フェスティバルや0歳から参加できるコンサ
ートの開催、ミュージアムコンサートの拡充など、
県民に身近な場所で質の高い音楽鑑賞の機会
を創出)



室内楽フェスティバル

・芸術文化指導者招へい事業 (567万円)
(音楽、舞踊などの優れた専門家を招き、若手芸術家等を指導)

・青少年美術展、子どもフェスティバル開催支援事業 (359万円)

県立文化施設の整備・充実

【新】県立文化施設機能強化推進事業(2億円)
(県立文化ホールや美術館・博物館の設備等の機能
向上や修繕を計画的に実施)
教育文化会館(5,924万円) 高岡文化ホール(4,050万円)
新川文化ホール(2,356万円) など



高岡文化ホール

質の高い文化の創造と世界への発信

アートとデザインをつなぐ場の創出

【新】第12回世界ポスタートリエンナーレとやま2018の開催 (3,010万円)

【新】世界ポスタートリエンナーレとやま首都圏PR事業 (200万円)

・富山県美術館企画展の開催 (1億3,027万円)

(「デザインあ展 in TOYAMA」(4,386万円)、
「高山山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博」展(1,878万円)、
「三沢厚彦 Animals(仮)」展(2,100万円) 等)

【新】富山県美術館プロムナード活性化事業 (900万円)
(賑わい創出のためのスタンプラリーやミニイベント等を開催)

【新】富山県美術館作品保護事業 (1,470万円)
(収蔵絵画への低反射アクリル板装着による保護等)



富山県美術館

高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興

【新】大伴家持生誕1300年記念式典の開催 (697万円)

【新】大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞の贈呈 (967万円)

【新】「大伴家持」企画展の開催 (1,170万円)
(大伴家持の歌の風景をテーマとした企画展の開催)

【新】マンガ「大伴家持」による普及啓発 (300万円)
(里中満智子氏が執筆予定の「言霊の人・大伴家持」を使った
大伴家持の普及啓発)



「歌人 大伴家持」展

【拡】大伴家持生誕1300年記念関係事業の推進 (2,166万円)

・高志の国文学館企画展の開催 (3,966万円)

アジアを代表する舞台芸術の拠点づくり <舞台芸術特区TOGA>

【新】シアター・オリムピックスの開催準備 (3,300万円(総事業費5,250万円))
(プレイベントの開催、PR動画の制作、宿泊・輸送体制の試行等)

【新】利賀芸術公園機能向上事業(1億1,050万円(総事業費2億1,050万円))
(野外劇場の照明設備更新、宿泊施設への暖房設備導入や
公益財団法人が行う舞台芸術拠点施設の整備への支援)



鈴木忠志氏演出
世界の果てから
こんちには

・利賀サマー・シーズン開催事業 (2,300万円(総事業費5,510万円))

・アジア演出家フェスティバル開催事業 (2,057万円(うち県費1,029万円))

ふるさとの歴史・文化の再発見と発信

【新】世界の防災遺産・立山砂防シンポジウム開催事業 (1,430万円)(総政)

【新】国際防災学会・立山砂防PR事業 (800万円)(土木)
(国際防災学会(2018年富山開催)に併せて立山砂防の普遍的価値をPR)

【新】立山砂防の英語版冊子改訂、アニメ英語版制作事業 (240万円)(総政)

【新】首都圏での文化公開講座開催事業 (300万円)
(首都圏の大学において公開講座を開催し、本県の文化の魅力発信)

【新】富山の文化遺産魅力発信事業 (186万円)(教委)
(富山の文化遺産の魅力を国内外に向けて広く発信する取組みを支援)

・文化財の美装化等推進事業 (1,770万円)(教委)
(文化財の美装化や公開活用のための防災・防犯設備整備への支援)

文化と他分野の連携

文化を活かした産業の振興

【新】「国際工芸アワードとやま」(仮称)
の開催に向けた準備検討等 (1,380万円)

(国際北陸工芸サミット)の成果を検証し、
今後新たに開催する「国際工芸アワード
とやま」(仮称)の準備検討)



国際的な工芸アワード

【新】富山デザインコンペ特別展開催事業 (200万円)(商労)
(デザインコンペ25周年を記念し、富山県美術館と連携して
特別展を開催)

【拡】大学連携デザイン人材マッチング事業 (300万円)(商労)
(デザイン系大学と連携したワークショップにより、県内企業と
学生とのマッチングを支援)

【新】クリエイティブ・デザイン・ハブ新事業創出支援事業 (700万円)(商労)
(異分野アドバイザーの協力を得て、複数企業によるデザイン
を活用した新事業創出を支援)

【新】デザイン交流拠点全国発信事業 (400万円)(商労)
(デザインセンター一帯をデザイン交流ゾーンとして全国に発信
するための「とやまデザイン・コンシャス2018(仮称)」(企画展、
国際デザインセミナー、県民向け見学ツアー等)を開催)

・富山のデザイン発信力強化事業 (171万円)(商労)
(県内企業の技術と素材を活かした「技のこわけ」を開発し、PR)

豊かな食の磨き上げとブランドイメージの向上

【新】「オールとやま」食の魅力創造・発信事業 (550万円)(農林)
(県産農林水産物の周年供給に向けた首都圏料理人等との
商談会の開催など)

【拡】「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業 (2,060万円)(農林)
(「高志の紅(アカガニ)」等の首都圏でのPR、「富山のさかな」
キャンペーンサイトの多言語化など)

文化を活かした観光の振興

【新】美術館・博物館等における多言語対応の拡充 (1,400万円)
・アートのまちめぐりパスポート事業 (300万円)(観光地)

文化を活かしたまちづくり・地域づくり

・地域文化力向上・活性化支援事業 (450万円)
(万葉集全20巻朗唱の会、
スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドなどを支援)



万葉集全20巻 朗唱の会

情報通信技術を活用した文化の創造と発信

・富山県映像センター運営事業 (637万円)(教委)

平成30年度「県民参加による水と緑の森づくり事業」

～水と緑に恵まれた県土の形成と心豊かな県民生活の実現～

当初計画額

4億453万円

新たな富山県森づくりプラン（H29～38年度）の概要

水と緑の森づくり税の延長と税の一部引き上げ（H28.6 県議会可決）

- ・「水と緑の森づくり税」をH33年度まで5年間延長
- ・資本金等の額が10億円超の企業の税額を増額

新たな目標を設定

多様な森づくりの推進

(単位：ha)

| 区分 | 実績 H19-28 | 計画 | | | 目標 H29-38 |
|-----------------|--------------|---------|---------|--------|--------------|
| | | H29(見込) | H30(計画) | H31-38 | |
| 里山林整備 | 2,687 | 227 | 313 | 1,460 | 2,000 |
| 混交林整備 | 1,290 | 52 | 67 | 381 | 500 |
| 「立山 森の輝き」 植栽 | 42.2 | 20 | 20 | 420 | 460 |

県民参加による森づくり の年間参加延べ人数



新たな取組み等

【海岸林での重点的な松くい虫被害対策】

海岸林及びその周辺区域を対象に、平成29年度～30年度の2ヶ年で一体的かつ重点的な松くい虫の被害対策を実施



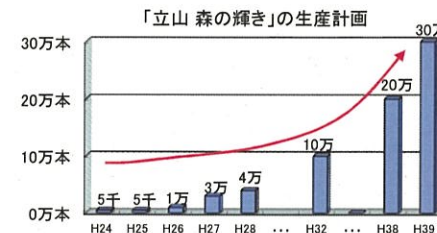
松くい虫による被害状況

【森づくりサポーターの養成】

過疎化、高齢化により困難となった里山林の維持管理を支援する「森づくりサポーター」の養成

【優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及】

森林資源の循環利用と花粉症対策の一環として、本県で開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の苗木を生産し、スギ人工林の伐採跡地に植栽



多様な森づくりの推進

里山再生整備事業 (313ha)

【1億7,576万円】

- ・県民協働による里山林の整備(313ha,26地区)を推進
- ・里山林の継続的な管理・利用を推進するため、里山地区のリーダーを養成
- ・カシノナガキクイムシ等の森林病害虫などによる枯損木を除去
- ・海岸林での重点的な松くい虫被害対策の支援
(海岸林での薬剤散布や周辺区域も含めた伐倒駆除)



地域住民による里山林の整備

みどりの森再生事業 (67ha)

【8,568万円】

- ・奥地の過密人工林や竹林が侵入した人工林を整備し、混交林に誘導
- ・森づくり事業で使用する県産広葉樹苗木を県民協働で育成



侵入竹林を混交林へ誘導

実のなる木の育成事業 (16ha)

【412万円】

- ・カシノナガキクイムシの被害跡地に植栽した実のなる木の育成(下刈り)



天皇皇后両陛下のお手書き

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業 (20ha)

【6,424万円】

- ・スギ人工林伐採跡地への植栽(4万本)、初期保育を支援
- ・苗木の生産と普及PR



「立山 森の輝き」の生産

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」苗木生産基盤整備事業【1,107万円

- ・苗木の大量生産に向けた民間苗木生産者の資材購入等への支援 (関連事業)
- ・低コストな挿し木苗生産に向けた魚津採徳園の採徳林整備

とやまの森を支える人づくりなどの推進

とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業 【3,721万円】

- ・森林ボランティア活動を専門的・総合的に支援
- ・森づくり活動機器(ヘルメット、ノコギリ、チップパー機等)の貸出や保険料を支援
- ・森林ボランティアの施業技術の習得・向上等のため森づくり塾を開催(30回)
- ・里山林の維持管理を一層推進するため「森づくりサポーター」を養成



地域住民と森づくりサポーターによる里山整備

とやまの森づくり普及啓発推進事業

【580万円】

- ・森づくりへの理解を深めるため「森の寺子屋」を開催(120回)
- ・フォレストリーダー(218名)の指導力向上のための研修を実施



森の寺子屋の開催

県民による森づくり提案事業

【500万円】

- ・県民が自ら企画し、実践する森づくり活動を支援

県産材利用促進事業

【2,035万円】

- ・公共施設等の木造化や木製品の導入等を支援
- ・木育を推進するための県産材遊具の設置や導入を支援



木育推進のための県産材遊具

とやまの森づくり総合情報システム事業

【450万円】

- ・「とやまの森づくりHP」を活用し、森づくりに関する情報を県民に提供

県民全体で支える森づくりの推進と、森づくりの評価・改善

水と緑の森づくり推進事業

【188万円】

- ・水と緑の森づくり会議、森林審議会森づくり部会を開催



第68回全国植樹祭(H29.5.28)

〔拡〕とやま森と木のフェスタ(仮称) 開催事業 【400万円(一部森づくり税)】

全国植樹祭により高まった豊かな森を守り育てる県民気運を、今後の森づくりにつなげるメモリアルイベントを開催(両陛下お手植え樹種の記念植樹や下草刈り等の森づくり活動など)



総合的ながん対策の推進

予防の強化と早期発見の推進

がんにかからない生活習慣の確立

富山県健康寿命日本一推進プロジェクト事業 (3,180万円)

【新】健康経営普及支援事業 (400万円)

【新】ウォークスとやま県民運動推進事業 (550万円)

【拡】働き盛りの健康づくり支援事業 (800万円)
スマートフォンアプリを使用した健康ポイント事業を展開

【拡】食の健康づくり推進事業 (570万円)
「健康寿命日本一応援店」を募集・PRし、外食時の食生活改善を支援

【拡】野菜をもう一皿！食べようキャンペーン推進事業 (360万円)

家庭での野菜摂取を促進するキャンペーンを展開
【拡】生活習慣改善ヘルパズ健康合宿事業 (500万円)
健康合宿の開催支援や著名人を活用した効果の周知等

【新】受動喫煙防止事業 (200万円)
国の受動喫煙防止リーフレットを活用した普及啓発

・たばこ対策関連事業 (51万円)
大学生との共同禁煙プロジェクト等

・学校におけるがん教育の支援 (学校保健総合支援事業) (教委17万円)
医師やがん経験者等の講師派遣

肝炎対策事業

・肝炎診療連携拠点病院運営事業
指定拠点病院の運営補助 (660万円)

・肝炎ウイルス検査医療機関委託事業
無料肝炎ウイルス検査の実施 (103万円)

・ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業
初回精密検査費用等の助成 (194万円)

・職域での肝炎ウイルス検査促進事業
検診機関等での受検勧奨 (78万円)

・肝炎治療特別促進事業 (1億2,065万円)
B型・C型ウイルス性肝炎の治療に係る医療費の助成

【新】肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 (1,097万円)

B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がんや重度肝硬変(非代償性肝硬変)に係る医療費助成

がんの早期発見体制の強化

【新】職域連携がん検診受診率向上支援事業 (200万円)
経営者向けセミナーや従業員向けセミナー開催への支援

【新】胃がん対策強化事業(重点年齢検診) (180万円)
市町村の胃がん検診受診率向上のため、50歳代の受診(2回)に係る受診料軽減を支援

【新】女性がん対策強化事業 (250万円)
乳がん患者・家族支援フォーラムの開催等

・節目検診・重点年齢検診推進事業 (2,878万円)
市町村の節目年齢検診(5歳毎)等へ助成

・市町村のがん対策推進員活動支援
研修会の開催等 (390万円)

・中小企業がん検診推進事業 (75万円)
商工団体の活動への支援

・企業と連携したがん検診推進事業 (40万円)
がん予防推進員の養成

【胃がんの年齢調整死亡率(人口10万対)】

| 年度 | | 富山県 | 全国 |
|-----|----|------|------|
| H22 | 男性 | 29.2 | 28.2 |
| | 女性 | 12.0 | 10.2 |
| H27 | 男性 | 29.0 | 22.9 |
| | 女性 | 10.4 | 8.3 |

厚生労働省「人口動態統計特殊報告」より作成

【働く世代(40~59歳)の乳がん死亡率(人口10万対)】

| | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| 富山県 | 36.7 | 21.3 | 22.7 | 25.5 | 21.1 | 26.1 |
| 全国 | 23.2 | 21.1 | 21.8 | 20.6 | 20.7 | 21.1 |

厚生労働省「人口動態統計」、県「富山県の人口」より作成

【市町村がん検診受診率(%)】

| | 富山県(H27) | 全国(H27) |
|-------|----------|---------|
| 胃がん | 12.9 | 6.3 |
| 肺がん | 33.8 | 13.7 |
| 大腸がん | 26.6 | 15.5 |
| 乳がん | 29.6 | 18.4 |
| 子宮頸がん | 27.5 | 14.5 |

厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告書」より作成

質の高い医療の確保

質の高い医療が受けられる体制の充実

・(国指定)がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金 (5,310万円)
国指定拠点病院の運営補助

・(県指定)がん診療地域連携拠点病院事業費補助金 (450万円)
県指定拠点病院の運営補助

・緩和ケア病床への転換支援 (2,500万円)

・がんの専門分野における質の高い看護士の育成
がん看護臨床実践研修の実施 (295万円)

・診療情報管理士研修会 (31万円)
拠点病院における院内がん登録の精度管理向上のための研修会を開催

調査・研究の推進

・がん疫学調査事業 (1,235万円)
全国がん登録の実施により、がん医療の技術の向上に資するもの

【富山県立中央病院「先端医療棟」の実績】

(年間運営費24億円)
高度ながん医療の提供等を目的にH28年9月竣工・稼働

- 最新鋭のがん検査・治療機器の導入で早期発見・治療
 - ◆MRI: 検査待ち期間が8週間→1週間に短縮(検査件数:33%増)
 - ◆CT: 検査待ち期間が4週間→当日に短縮(検査件数:13%増)
- ロボット手術やハイブリット手術といった最新治療方法や患者への負担が少ない次世代の低侵襲手術が実現
 - ◆大腸の内視鏡手術の待ち期間が2~4週間→1週間に短縮
 - ◆「ダ・ヴィンチ」による前立腺がん全摘手術を30件実施(~H29.12月)

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

内視鏡センター



患者支援体制の充実

がん患者の支援体制の充実

・がん総合相談支援センターの運営 (1,540万円)
幅広い相談に対応する総合相談窓口の運営等(H25.9サンシップ内に設置)

・がんのピアサポーター養成事業 (120万円)
がん経験者等ががん患者を支援するピアサポーターの養成

・がんのピアサポーターフォローアップ研修事業
ピアサポーターの資質向上 (35万円)

・がん患者サロン交流事業 (80万円)
ピアサポーターによる交流サロンの開催

・がん患者在宅療養支援体制整備事業(121万円)
事例検討会の開催等

働く世代やライフステージに応じたがん対策の充実

【新】小児・AYA世代のがん相談体制強化事業 (40万円)

小児やAYA世代(思春期世代と若年成人世代)のがんを理解するための関係者向けセミナーの開催

推進体制の強化

・がん対策推進県民会議・がん対策推進協議会の運営 (200万円)



がん総合相談支援センターの様子
※看護師3名による相談対応

国指定(7病院)・県指定(3病院)計10病院

【県がん総合相談支援センター・拠点病院がん相談センターの相談件数】

| 年度 | H26 | H27 | H28 |
|-------|--------|--------|--------|
| 相談の件数 | 4,469件 | 4,530件 | 4,670件 |

【ピアサポーター登録者数】

| 年度 | H26 | H27 | H28 |
|--------------------|-----|-----|-----|
| ピアサポーター登録者数(年度末現在) | 38人 | 53人 | 71人 |

所管部局名のない事業は、厚生部所管事業

健康づくりの推進と医療の充実

健康づくりと疾病対策の推進

健康づくりの推進

◆生活習慣の改善◆

| | |
|---------------------------------------|---------|
| 健康寿命日本一推進プロジェクト事業 | 3,180万円 |
| (新)「健康経営」普及支援事業 | 400万円 |
| 従業員の健康管理を経営的視点から捉え戦略的に実施する「健康経営」を普及支援 | |
| (新)ウォークピズとやま県民運動推進事業 | 550万円 |
| 通勤時間など「手軽」ウォーキングに取組む運動推進を促す | |
| (拡)働き盛りの健康づくり支援事業 | 800万円 |
| スマートフォンアプリを使用した健康ポイント事業を展開 | |
| (拡)食の健康づくり推進事業 | 570万円 |
| 「健康寿命日本一応援店」を募集・PRし、外食時の食生活改善を支援 | |
| (拡)野菜をもう1皿！食べようキャンペーン推進事業 | 360万円 |
| 家庭での野菜摂取を促進するキャンペーンを展開 | |
| (拡)生活習慣改善ヘルスアップ(健康合宿)事業 | 500万円 |

県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催
【総政】530万円

スポーツで健康づくり応援事業
【総政】300万円

プロスポーツと県民が交流する健康づくりイベントを実施

東京オリンピック機運創出支援事業
【総政】173万円

オリンピック、日本代表選手等と向き合う体験会等を実施

元気やまスポーツライフサポート事業【総政・教委】344万円

(新)健康・スポーツ環境充実検討事業【総政】1,200万円

健康・スポーツの推進方策や施設整備等について総合的に検討

食生活改善推進事業 203万円

(新)「栄養の日・栄養週間」普及推進事業 400万円

栄養士と連携して「バランスの良い食生活」について普及啓発

特定健康診査・特定保健指導事業 1億7,323万円

◆こころの健康づくり◆

| | |
|----------------------------|-------|
| (新)若者自殺対策推進事業 | 200万円 |
| 心の健康づくりセミナーの開催、リーフレットの作成等 | |
| (新)富山県自殺対策推進センター設置事業 | 141万円 |
| センターを設置し、市町村の自殺対策を支援など | |
| (新)検索運動広告の活用による自殺対策 | 111万円 |
| インターネットの検索運動広告を活用した若者の自殺対策 | |
| (新)依存症相談拠点設置事業 | 336万円 |
| アルコール、薬物、ギャンブル等依存症の相談拠点を設置 | |
| (新)精神障害者の地域移行支援事業 | 143万円 |
| アドバイザーを地域に派遣し、保健医療関係者を支援等 | |

◆歯と口の健康づくり◆

| | |
|-----------------------------|-------|
| 働く世代の歯周病予防支援事業 | 80万円 |
| 企業と連携して歯周病の改善による糖尿病重症化予防を推進 | |
| 歯科衛生士等臨床定着支援事業 | 160万円 |
| 歯ッスルとやま 8020 推進事業 | 700万円 |
| 市町村が行う歯科保健事業に対する助成 | |

疾病対策の推進

◆感染症など各種疾病対策の推進◆

| | |
|------------------------|------------|
| 新興・再興感染症総合対策強化事業 | 568万円 |
| エボラ出血熱・MERS等に対応する体制整備等 | |
| 風しん検査事業 | 343万円 |
| 先天性風しん症候群予防のため、抗体検査を実施 | |
| 難病対策事業 | 12億9,791万円 |
| イタイイタイ病総合対策事業 | 3,839万円 |
| イタイイタイ病資料館管理運営事業 | 4,519万円 |
| 肝炎対策事業 | 1億4,252万円 |

◆周産期保健医療体制の整備◆

| | |
|--------------------|-----------|
| 周産期医療設備整備事業 | 1,276万円 |
| 周産期母子医療センター運営事業 | 4,055万円 |
| 不妊治療費助成事業 | 2億1,781万円 |
| 不育症治療費助成事業 | 400万円 |
| 切れ目ない妊娠・出産包括支援推進事業 | 138万円 |
| 思春期ピアカウンセラー交流促進事業 | 130万円 |
| 先天対症特異検査(タデムマス法)事業 | 2,420万円 |



県立大学看護学院の設置



富山県ドクターヘリ

・死亡者数5割減(37人減)
・重く・後遺症を残した患者数5割減(41人減)
<127~28年度事後評価による>

食の安全確保と食育の推進

| | |
|----------------------------------|-------|
| (新)HACCP普及指導者養成事業 | 160万円 |
| (新)飲食店向けHACCP理解醸成事業 | 100万円 |
| 食品の安全性確保に関する事業 | 431万円 |
| とやま食育運動推進事業【農林】951万円 | |
| 「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業【教委】148万円 | |
| 児童生徒の望ましい食生活の普及事業【教委】30万円 | |

※所管部局のみの事業と、厚生所管事業

医療提供体制の充実

医療機能の充実と連携の強化

地域医療介護総合確保基金の積立【医療分】12億9,631万円 【介護分】5億2,236万円

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進
(新)医療機能分化・連携推進事業費補助金 4,233万円
「一般科病棟から訪問看護ステーション」等のモデル施設への転換を支援

◆地域医療の推進◆

(新)富山歯科総合学院施設・設備整備支援事業 2,360万円
歯科衛生士・歯科技工士を養成する富山歯科総合学院の整備を支援

◆救急医療体制の充実◆

ドクターヘリ運営推進事業 2億1,756万円
富山県ドクターヘリ事業の運営等
(拡)小児救急電話相談事業 1,330万円
小児救急電話「#8000」の運営時間を休日居間にも拡充
県立中央病院「スーパーICU(特定集中治療室)」の運営費 2億6,400万円
先端医療棟「高度集中治療センター」内に6床設置
延べ1,896名の重症患者を受入れ(H29.1~12月)

◆リハビリ医療体制等の充実◆

(拡)富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの運営 6億2,755万円
新たに重症心身障害者等に療養介護サービスを提供
回復期機能病床確保事業 5億5,500万円
急性期病棟等から回復期病棟への転換1,250床
リハビリ専門職資質向上事業 100万円
(新)リハビリテーション科専門医等育成確保事業 100万円
(拡)急性期リハビリテーションの充実に向けた医療器械整備事業 350万円

◆在宅医療・訪問看護の充実◆

富山県在宅医療支援センター運営事業 1,178万円
在宅医療推進加速化事業 950万円
郡市医師会の在宅医療推進に向けた取組みを支援
(新)医療・介護連携促進基盤整備事業 1,500万円
地域の医療・介護関係者が在宅医療者の医療・介護情報をリアルタイムに共有活用できるICTシステム整備を支援(3地域)
あんしん在宅医療IoT活用実証事業 943万円
Webカメラやセンサー等を活用した在宅医療の実証
訪問看護ステーション整備支援事業 1,150万円
訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業 780万円
テレワーク型モデル事業、訪問看護師のトライアル雇用
訪問看護ステーション業務改善推進事業 525万円
(拡)訪問看護ステーション連携加速化事業 500万円
病院看護師と訪問看護ステーション職員との人材交流・相互研修等による看護スキル向上と連携強化を支援

小児在宅医療推進事業 165万円
小児在宅医療従事者の育成支援
(新)医療的ケア児者種別・連携推進センター運営事業 350万円
県リハビリテーションコーディネーターを配置し、医療的ケア児者などの入退院等に係る利用調整や相談支援等を実施

人材の養成確保と資質の向上

◆医師養成確保対策の推進◆

特定診療科医師確保推進事業 4,000万円
医師需要の調査研究、派遣・調整等を行う常設研修施設富山附属病院に設置
地域医療支援センター事業 100万円
特別研修医師のキャリア形成支援、ドクターバンク事業等
医学生への修学資金貸与 1億7,608万円
専門医認定支援事業 280万円
新専門医制度の円滑な運用のための協議会の開催等
専攻医確保対策事業 96万円
各病院が実施する専門研修プログラムのPRを実施
女性医師等支援事業 750万円

◆看護職員養成確保対策の推進◆

(拡)県立大学看護学部施設等整備費 29億7,373万円
平成31年4月の開設に向け施設・備品の整備、PR等を実施
看護師等養成所運営支援事業 1億5,045万円
看護学生への修学資金貸与 1億3,641万円
富山大学看護学科への寄附講座設置 2,650万円
認定看護師教育課程運営事業 952万円
摂食・嚥下障害看護分野の養成
特定行為研修費支援事業 188万円
看護師等就業支援事業 338万円
病院内保育所運営支援事業 3,128万円

◆薬剤師確保対策の推進◆

薬剤師等人材確保事業 100万円
薬学部生を対象とした製薬企業セミナーの開催、製薬企業PRハルホクの作成・配布
未来の薬剤師発掘セミナー開催事業 100万円
県内の中高生や保護者を対象とした未来の薬剤師発掘セミナーの開催
薬剤師業務体験学習事業 100万円
中高生を対象とした薬局実習、病院実習、調剤実習の実施

医薬品の研究開発の推進

(拡)創薬開発支援プロジェクト事業 3,000万円
バイオ医薬品・高薬理活性医薬品等の開発促進に向けた研究助成を実施
新製剤開発探索研究支援事業 2,000万円
小児用医薬品等の高付加価値な製品の開発促進に向けた研究助成を実施

◆災害医療体制の強化◆

(拡)災害時医療体制整備事業 492万円
災害医療等連絡協議会の開催、地域災害医療コーディネーター研修事業等
(新)中部ブロックDMAT実動訓練事業 560万円

地域共生福祉の推進

地域包括ケアの推進

○地域における福祉システムの形成

- (拡)ふれあいコミュニティ・ケアネット21事業
地域住民自らが福祉課題を解決する活動への支援 (6,780万円)
- (新)共生型包括ケアネット構築事業 (100万円)
ケアネット活動を基盤とした市町村の包括的支援体制の構築を支援

○介護予防(社会参加)・生活支援の充実・確保

- ・地域包括ケアシステム普及啓発事業 (293万円)
地域包括ケア活動団体の登録・顕彰、県民フォーラム等
- (拡)高齢者自立支援・介護予防推進事業 (250万円)
多職種協働による自立支援を促進するため地域ケア会議の立ち上げなどを支援
- ・地域支援事業交付金 (7億7,135万円)
市町村の介護予防・日常生活支援総合事業等に対する支援
- (拡)エイジレス社会リーダー養成事業 (300万円)
生活支援や介護予防サービス等を行う団体・グループを認知するなど、地域社会の担い手となる人材を養成
- ・エイジレス社会活動推進事業 (344万円)
- ・明るい長寿社会づくり推進事業 (4,503万円)
- ・老人クラブ振興事業 (6,469万円)
- (拡)全国健康福祉祭(ねんりんピック)の開催 (10億4,100万円)
式典運営、宿泊・輸送等の調整等 6億 948万円
機運の醸成、交流大会事業等 4億3,152万円
- ・県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催 (総政 530万円)

○認知症対策の推進

- (新)認知症普及啓発事業 (150万円)
認知症への正しい理解と地域全体の見守り体制づくりに向けた、街頭啓発活動等を実施
- ・若年性認知症相談・支援センター事業 (510万円)

○在宅・施設のバランスのとれたサービスの充実

- ・地域密着型介護基盤整備事業 (11億7,000万円)
地域密着型の介護サービス施設整備に対する支援

- ・富山型デイサービス施設支援事業 (2,315万円)
富山型デイサービスの施設整備支援、起業家育成講座等

- ・生活困窮者自立支援事業 (1,145万円)
生活困窮者に対する自立相談・就労支援等

○在宅医療・訪問看護の推進

- ・富山県在宅医療支援センター運営事業 (1,178万円)
在宅医療に取り組む医師の確保・育成、普及啓発等を実施
- ・在宅医療推進加速化事業 (950万円)
郡市医師会の在宅医療推進に向けた取組みを支援
- (新)医療・介護連携促進基盤整備事業 (1,500万円)
地域の医療・介護関係者が在宅療養者の医療・介護情報をリアルタイムに共有・活用できるICTシステム整備を支援(3地域)
- ・あんしん在宅医療IoT活用実証事業 (943万円)
Webカメラやセンサー等を活用した在宅医療を実証
- ・訪問看護ステーション整備支援事業 (1,150万円)
新設、大規模化等のための施設や設備の整備を支援
- ・訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業 (780万円)
テレワーク型モデル事業、訪問看護師のトライアル雇用
- ・訪問看護ステーション業務改善推進事業 (525万円)
ICT活用による訪問看護師の業務負担軽減
- (拡)訪問看護ステーション連携加速化事業 (500万円)
病院看護師と訪問看護ステーション職員との人材交流・相互研修等による看護スキル向上と連携強化を支援
- ・回復機能病床確保事業 (5億5,500万円)
- ・小児在宅医療推進事業 (165万円)
小児在宅医療従事者の育成を支援

- (新)若年性認知症の仕事の場(居場所)づくり支援事業(200万円)
若年性認知症の人が社会的なつながりを継続できる仕事の場(居場所)を設置・運営するモデル事業を実施

- (拡)認知症疾患医療センター事業 (1,800万円)
認知症疾患医療センターの運営を支援するとともに、県認知症疾患医療連携協議会を設置し、地域連携体制を支援(4医療センター)

- ・特別養護老人ホーム整備支援事業 (9,000万円)
- ・高齢者が住みよい住宅改善支援事業 (1,085万円)

福祉人材の養成・確保・資質向上

- (拡)元気とやま福祉人材確保・応援プロジェクト事業 (7,289万円)
- (新)潜在介護福祉士等復職支援事業 (250万円)
潜在介護福祉士等への復職前研修・職場体験・マッチング
- (新)介護事業所インターンシップ事業 (100万円)
県内高校生を対象とした介護事業所でのインターンシップ
- (新)未来の介護人材発掘事業 (200万円)
介護職の魅力PR記事を掲載した情報誌を中学生に配付
- (拡)腰痛予防研修事業 (300万円)
事業所での介護技術研修(腰痛予防指導者の派遣)、専門家による講演会の実施
- ・介護人材移住応援事業 (430万円)
首都圏等居住の介護人材の富山への移住促進

- ・高校生への介護の魅力PR冊子作成・配付事業 (150万円)
県内の高校1年生に介護の仕事やPRする冊子を作成・配付
- ・がんばる介護職員応援事業 (1,200万円)
優秀な中堅介護職員の表彰、テレビCMや新聞広告による普及啓発
- ・新任介護職員ネットワーク形成支援事業 (300万円)
合同入職式、フォローアップ研修の開催
- ・介護職員処遇改善加算取得促進事業 (400万円)
社会保険労務士派遣によるキャリアパス整備を支援
- ・福祉・介護職員処遇改善加算取得促進特別支援事業 (250万円)
- ・がんばる介護事業所表彰事業 (230万円)
要介護度の維持改善や雇用環境改善に取り組む事業所を表彰
- (拡)介護ロボット普及促進モデル事業 (850万円)
介護現場の負担軽減や環境改善(働き方改革)のため、介護ロボットをユニット単位等で活用したモデル的取組み(全国初)を支援(2事業者)

子育て支援等の充実

○家庭、地域における子育て支援

- 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施
- (拡)施設型給付費支援事業 (総政・厚生 37億6,392万円)
保育所、幼稚園、認定こども園等の運営、質の改善に係る経費等
- (拡)特別保育事業 病児病後児保育@138箇所等 (3億9,461万円)
- (新)病児・病後児保育充実促進事業 (655万円)
病児対応型・病後児対応型施設の設置促進
- (拡)年度途中入所等保育士確保事業 (2,627万円)
- (新)保育人材雇用促進事業 (250万円)
保育士登録者への意向調査等による潜在保育士の掘り起こし等
- (拡)地域子ども・子育て支援事業 (3億6,018万円)
地域子育て支援拠点の運営や一時預かり事業等の実施を支援
- ・認定こども園整備事業 7市町14箇所(総政・厚生 6億4,081万円)
- 子どもの居場所づくり
- (拡)放課後児童クラブ支援事業 (4億3,694万円)
クラブ(補助対象@218~@235箇所)の運営や18時超の開設(@100~@111,うち18時30分超(@99~@79))等を支援
- ・とやまっ子さんさん広場推進事業 @23箇所 (904万円)

○特別な支援を要する子ども・家庭等への支援

- (拡)子どもほっとサロン事業 (185万円)
「こども食堂」の取組みを支援
- ・ひとり親家庭子育てサポート事業 (336万円)
放課後児童クラブやファミリー・サポート・センターの利用料を助成

○女性の健康づくり、出産に対する支援

- ・切れ目ない妊娠・出産包括支援推進事業 (138万円)
- ・思春期ピアカウンセラー交流促進事業 (130万円)
大学生等向けの妊娠・出産に係るライフプランの普及啓発

■経済的負担の軽減・子育て支援の機運の醸成

- (拡)保育所・幼稚園等保育料軽減事業 (総政・厚生 3億5,800万円)
- ・【新】低所得世帯の第1子、第2子を無償化する市町村を支援 (6,575万円(下半期分)
・第3子以降の原則無償化 2億9,225万円 通年ベースでは約1億3,000万円)
- (拡)がんばる子育て家庭支援融資・利子補給 (11億2,060万円)
多子世帯向けに教育費等を実質無利子で融資
平年ベース(H33以降)では約1億5,000万円
- (拡)とやまっ子子育て支援サービス普及促進事業 (1億2,422万円)
対象サービスの拡充(産後ケア、読み聞かせ絵本の拡大等)、第2子への配付額を2万円に増額
- (拡)第4子以上誕生お祝い事業 (260万円)
広報紙での紹介や県立文化・スポーツ施設の利用パスポートの配付等を実施 有効期限を延長 生後6年間→小学6年生まで
- (新)ひとり親家庭等の実態調査 (200万円)
母子・父子世帯等の生活実態や支援に関する調査を実施
- ・子ども・若者育成支援事業 (100万円)
社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者に係る支援機関の相互連携体制を強化
- ・不妊治療費助成事業 (2億1,781万円)
特定不妊治療費や男性不妊治療費の助成
- ・不育症治療費助成事業 (400万円)
不育症の治療に係る費用に対する助成

障害者福祉の充実

○理解の促進と権利擁護の推進

- (拡)障害者理解普及啓発事業 (1,034万円)
(新)ヘルプマークの導入、普及等
- ・障害者権利擁護・虐待防止推進事業 (305万円)

○自立と社会参加支援

- 地域生活の支援
- ・社会福祉施設等整備事業(一部2月補正) (3億4,301万円)
- ・障害者グループホーム設置促進事業 (2,250万円)
- ・障害福祉施設立上げ応援事業 (200万円)
- (拡)農福連携マッチング事業 (200万円)
- ・障害者スポーツ応援事業 (90万円)
- (新)障害者芸術文化活動普及支援事業 (970万円)
アール・ブリュットへの更なる普及、障害者芸術文化の裾野の拡大
- (新)精神障害者の地域移行支援事業 (143万円)
精神障害者支援のための人材を育成するとともに、アドバイザーを地域に派遣
- 工賃水準の向上と就業機会の拡大
- ・障害者工賃向上支援事業 (1,243万円)
- (新)障害者の一般就労トータルサポート事業(商労 600万円)
企業担当者への個別指導や、経営者向けセミナー、障害者・家族と企業との交流会、障害のある新入社員向け研修会の開催
- ・障害者就業・生活支援センター事業 (1,885万円)
- ・障害者チャレンジトレーニング事業 (商労 375万円)

- 手話言語条例の制定を契機とした手話の普及等の促進
- (新)手話普及等施策総合推進事業 (720万円)
条例の制定記念イベントの開催、専任手話通訳者の県内内配置、遠隔手話通訳サービスの開始、手話サークル等の普及活動支援等

○適切なサービスの提供

- リハビリテーションの提供と重症心身障害児者支援の充実
- (新)富山県リハビリテーション病院・子ども支援センター
障害者就労支援「チャレンジカフェ(仮称)」の整備
障害者の就労の場や県民との交流の場とする飲食スペースを整備 (8,298万円)
- (拡)富山県リハビリテーション病院・子ども支援センターの運営 (6億2,755万円)
新たに重症心身障害者等に療養介護サービスを提供
- (新)医療的ケア児者相談・連携推進センター運営事業
県リハビリ病院にコーディネーターを配置し、医療的(350万円)
ケア児者などの入退院等に係る利用調整や相談支援等を実施
- 多様な障害者に対する対応
- ・発達障害者支援センターの運営 (2,613万円)
- (新)発達障害ピアサポート推進事業 (100万円)
県リハピア部会に加え、新たに県西部で保護者等の集まる場を提供
- (拡)発達障害医師対応力強化事業 (100万円)
県内の小児科医に対してより実践的な研修を実施
- ・ハートフル保育カウンセラー派遣事業 (300万円)
- ・高次脳機能障害支援センターの運営 (422万円)
- (拡)軽度・中等度難聴児補聴器購入等支援事業
補助対象に新たにFM補聴器を追加 (100万円)
- ・難病相談・支援センターの運営 (1,651万円)
- ・指定難病等医療費助成 (12億4,128万円)
- ・ひきこもり地域支援センターの運営 (797万円)

※所管部局名のない事業は、厚生部所管事業

スポーツの振興

～スポーツで創る、笑顔・ひと・元気とやま～

県民がスポーツに親しむ環境づくり

- 「富山マラソン2018」の開催 8,572万円
- 富山県スポーツフェスタの開催 1,133万円
- 東京オリンピック機運創出支援事業 173万円
オリンピック、日本代表選手等を招き、スポーツ体験会等を実施
- 新** 東京2020オリンピック富山県聖火リレー準備事業 150万円
- 県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催
県民歩こう運動推進大会・元気とやまウォークラリーの開催 530万円
- 元気とやまスポーツライフサポート事業(生涯スポーツ) 301万円
- 元気とやまスポレク推進事業 198万円
- 「富山湾岸サイクリング2018」の開催 180万円〔親交地〕
- 拡** 湾岸サイクリングコースの整備 1億6,000万円〔土木〕
- 拡** 「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」の開催 10億4,100万円
式典運営、宿泊・輸送等の調整、機運の醸成など 〔厚生〕
- 障害者スポーツ活動総合推進事業 1,945万円〔厚生〕
- 県営スポーツ施設の整備(公共・主要県単) 5億9,600万円
- 都市公園における老朽化施設の更新等 3億4,600万円〔土木〕
(総合運動公園陸上競技場内の舗装やトレーニング機器の更新など)
- その他スポーツ施設の設備や用具の整備等 2億5,000万円
(うちオリンピック枠5千万円、トレーニング室の新設等)
- 新** 健康・スポーツ環境充実検討事業 1,200万円
健康・スポーツの推進方策や施設整備等について総合的に検討
- スポーツで健康づくり応援事業 300万円
3プロチームと県民が交流する健康づくりイベントを実施
- ガンバレ富山応援バス事業 315万円
- プロ直伝! とやま夢づくりスポーツ塾開催事業 200万円



富山マラソン



富山県民歩こう運動推進大会



ねんりんピック



学校等における体育・スポーツの充実

- 新** 部活動指導員配置促進事業 1,203万円〔教委〕
教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、新たに部活動指導員を配置
- 学校体育活動サポート事業 139万円〔教委〕
小・中学校の体育授業において、地域人材の活用や大学との連携等
- 武道指導者資質向上支援事業 332万円〔教委〕
武道の授業に地域人材を派遣し、教員の指導力の資質向上を促進
- 元気とやまスポーツライフサポート事業(学校教育) 43万円〔教委〕
- 新** スーパーとやま元気っ子育成事業 260万円〔教委〕
「みんなでチャレンジ3015」の現行プログラムの見直しやレベルアッププログラムの検討
- 中学生・高校生の全国大会出場に対する支援 3,975万円〔教委〕
- 新** パラスポチャレンジ事業 400万円〔教委〕
特別支援学校・学級での障害者スポーツ体験会の開催や運動プログラムの開発



元気とやまスポーツライフサポート事業



学校体育活動サポート事業

全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成

- 2020東京オリンピック・パラリンピックとやま戦略事業 253万円
- 2020東京オリンピックホストタウン・合宿誘致推進事業 140万円
オリンピックの事前合宿誘致活動やホストタウン構想への活動を支援
- 東京オリンピックを目指すジュニアアスリート育成サポート事業 300万円
- 2020東京オリンピック選手育成強化事業 215万円
- TOYAMAアスリートマルチサポート事業 920万円
スポーツ医・科学に基づく一貫した体カトレーニング体制を構築し、将来オリンピックや世界で活躍できる選手を育成
- 県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業 1,000万円
オリンピック等で活躍が期待できる本県の選手や指導者を支援
- サッカー・野球・駅伝強化事業 1,500万円
県の重点強化種目について、一貫指導体制に基づいた効果的な強化策を実施
- 障害者スポーツ応援事業 90万円〔厚生〕
ボッチャなど障害者スポーツの体験イベントの開催
- 未来のアスリート発掘事業 600万円
- 元気とやまスポーツ道場開催事業 1,800万円
- 新** 第75回冬季スキー国体開催準備事業 1,240万円
2020年2月に本県で開催予定のスキー国体の開催準備
- 新** 冬季スキー国体開催に向けた県営ジャンプ場の改修 2億530万円
- 新** 中部日本スキー大会開催費 330万円
- 合宿・遠征等の活動に対する支援(対象:国体41競技) 1億3,295万円
- 世界を目指す障害者スポーツアスリート応援事業 350万円
- 学校体育団体全国大会参加激励費 677万円〔教委〕



2020東京オリンピック・パラリンピックとやま戦略会議



全中相模準優勝 奥羽中 浦山選手



えひめ国体 陸上競技 4×100mリレー 6位 (リレー競技県勢初入賞)



山元選手



大江選手



広野選手

平昌オリンピック出場選手

スポーツを支える人材の養成及び活用

- スポーツエキスパート活用推進事業 1,510万円〔教委〕
学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者を派遣
- スーパートレーナー設置事業 567万円
県代表選手の競技力向上のため、オリンピック等で日本代表選手をサポートした経験のある専門知識を有したトレーナーによる支援を実施
- 中学・高校運動部スーパースポーツコーチ派遣事業 300万円



スーパースポーツコーチによるトレーニング指導

☆循環型社会と低炭素社会づくりの推進

◆「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた資源効率性・3Rの推進

- ① 3R推進全国大会関連事業 650万円
 > 3R推進全国大会開催事業 (200万円)
 レジ袋無料配布廃止10周年、とやまエコ・ストア制度創設5周年を契機に本県の取組みを全国にアピール
 > 「いつでも、どこでも3R」促進事業 (450万円)
 コンビニエンスストアと連携したマイバッグ持参、とやまエコ・ストアを活用した小型家電の回収など
- ② 食品ロス削減県民チャレンジ推進事業 750万円
 [ロスゼロウィーク県民チャレンジの実施、小売店による先進的なモデル活動の支援、食材の使いきりに関するセミナーの開催支援など]
- ③ 食品ロス・食品廃棄物削減対策事業 900万円(農林)
 [3015運動の推進、商慣習の見直しに向けた店舗等での実証実験、外食店での食べきりサイズメニューの導入促進など]
- ④ 食材丸ごと使いきり推進事業 150万円(農林)
 (食材を丸ごと使いきる工夫などを普及・推進)
 ・ 「とやまのエコフィード」利用推進支援事業 477万円(農林)
- ⑤ 食の健康づくり推進事業 570万円(厚生)
 (「健康寿命日本一応援店」を募集・PRし、外食時の食生活改善を支援)
- ⑥ PCB廃棄物の適正処理対策推進事業 300万円
 (使用・保管状況を把握するための調査を実施)



◆ 地球温暖化対策の推進

- ① とやま環境未来チャレンジ事業 400万円
 [小学校で温暖化・3R・食品ロス対策に関する学習プログラムを実施、家族ぐるみでの実践を促進]
- ② とやま温暖化ストップ計画見直し検討事業 500万円
- ③ ノーマイカー運動「ウォーク&ライド」推進事業 330万円(親交地)
 [県民に広く公共交通を利用した通勤・通学を呼びかけ、過度にマイカーに依存した生活を見直すきっかけづくりを提供]



◆ 再生可能エネルギー等の導入推進

- ・ 農業用水を活用した小水力発電の推進 4億1,210万円(農林)
- ・ 地熱資源開発調査事業 1億6,500万円(企業)
 (立山温泉地域において調査井上部掘削調査等を実施)
- ・ 再生可能エネルギー利用促進資金(新規融資枠15億円) 6億円(商労)
- ・ 産学官イノベーション推進事業「新商品・新事業創出枠(環境・エネルギー分野)」200万円(商労)
 (成長産業分野の産学官連携による技術開発や新製品開発を促進)
- ・ とやま水素インフラ研究事業 100万円(商労)
 (水素ステーションなどインフラ整備に向けた技術セミナー等の取組みを支援)
- ・ とやま次世代自動車研究事業 100万円(商労)
 (次世代自動車に関する技術セミナーの実施を支援)



☆国際環境協力の推進

◆ 北東アジア地域の総合的な環境保全・環境教育の推進

- ① 環日本海生態系機能共同学習プログラム 200万円
 [貝類をモデルとして、海洋生態系が地球温暖化対策や海洋環境保全に果たす役割を学習する高校生向けプログラムを実施]
- ② 海洋環境保全講演会の開催 180万円
 [海洋環境保全と漂着ごみ発生抑制の重要性を啓発、環日本海環境協力センターの取組みをPR]
- ◆ NOWPAP地域調整部への支援
 ・ 国連機関(NOWPAP地域調整部)への運営協力 5,335万円(総政)



☆自然環境の保全

- ① 薬師岳ライチョウ生息状況調査事業 350万円
 (立山に次いでライチョウ生息数が多い薬師岳で生息状況調査を実施)
- ② ライチョウ王国とやま発信事業 150万円
 (ライチョウサポート隊の保護活動、首都圏でのPRを実施)
- ③ 指定管理鳥獣捕獲等事業 3,736万円
 [イノシシ等の捕獲専門チームの新設、2018年8人から2020年までに30人の専門的捕獲技術者の確保を目指す]
- ④ 「安全登山検討会(仮称)」の設置 100万円
 (登山の安全対策の取組みを推進するための検討会を開催)
- ・ 立山・黒部外国人観光客対応施設等の整備 3,680万円
 [案内看板・道標等の再整備と多言語化や称名平休憩所の改修、登山道・遊歩道等のクオリティアップを実施]
- ・ 立山バス排出ガス規制推進事業 2億50万円
 (条例によるバスの排出ガス規制の実施、県内バス事業者への支援)



☆生活環境・水資源の保全

◆ 生活環境の保全

- ① とやまふるさと環境保全事業 200万円
 (河川や海岸、森林での活動体験を通じた環境学習の実施や情報発信)
- ② 大気環境新モニタリング体制構築事業 650万円
 (効率的な常時監視体制の構築のための基礎調査の実施)
- ③ とやま水環境保全促進事業 170万円
 (水生生物保全環境基準2項目の追加指定と類型指定図の作成、水辺の環境調査の実施)
- ④ 海岸漂着物対策の推進 7,260万円(生環・土木)
 [発生抑制対策(860万円)
 ◎ スマホアプリを活用した清掃活動の推進(400万円)
 ◎ 上流域と連携した海岸清掃体験バスツアー(220万円) など
 ◎ 回収・処理(市町村補助を含む、6,400万円)]
- ⑤ 「3Rへの架け橋に」県内一斉清掃事業 170万円
 (3R推進全国大会の開催前に、県内全域の海岸で一斉清掃活動を実施)
- ・ 伏木富山港公害防止対策事業 2億4,750万円(土木)
- ・ イタイイタイ病資料館管理運営事業 4,519万円(厚生)
 (特別企画展、語り部事業、資料館に来て・見て・学ぼう事業等を実施)



◆ 水資源の保全と活用

- ① 地下水保全活動実践促進事業 480万円
 (地下水位低下時の注意喚起のための連絡・協力体制の構築)

- ・ 漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業 892万円
 (海岸漂着物の調査活動、日本海沿岸諸国での取組みも含めた発生抑制学習会を実施)
- ・ 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業 271万円
 (青少年による意見交換や環境保全活動を実施し、次世代のリーダーを育成)
- ・ 富山湾リモートセンシング事業 120万円
 (人工衛星を活用した遠隔観測技術による富山湾沿岸部の藻場調査と遠隔観測技術を使った富山湾の調査を体験する小中学生向けの環境学習プログラムを実施)



◆ 環日本海環境協力センターへの支援

- ・ 環日本海環境協力センター(NPEC)支援事業 8,686万円
 (NOWPAPと連携した海洋生物多様性保全や富栄養化対策等の推進)

防犯対策の推進

| | |
|--------------------------------------|---------------|
| ・ 地区安全なまちづくり推進センター活性化支援事業 | 641万円 |
| ・ 青色パトロール活動支援事業 | 150万円 |
| ・ カギかけ防犯推進事業 | 219万円 |
| 【拡】学生防犯団体育成事業 | 100万円 |
| 学生防犯パトロール隊の結成や自転車盗多発地区でのパトロール活動 | |
| ・ 富山南警察署(仮称)整備事業 | 5億2,200万円(警察) |
| ・ 駐在所・交番庁舎整備事業(2か所) | 1億円(警察) |
| 老朽化や交差点改良に伴う下堀交番建替整備 他1か所 | |
| 【新】女性警察官活躍推進事業 | 1,000万円(警察) |
| 【新】交番機能強化事業 | 223万円(警察) |
| 交番相談員の増員 | |
| 【新】特殊詐欺被害防止地域応援事業 | 150万円(警察) |
| 特殊詐欺被害ゼロ地区運動による被害防止活動の推進 | |
| 【新】地域防犯設備効果体感事業 | 70万円(警察) |
| 防犯カメラを町内会に貸出して効果を体感してもらい自主的な設置・拡充を支援 | |
| 【新】捜査支援用画像解析装置整備事業 | 230万円(警察) |
| ・ 空き家対策推進事業 | 806万円(土木) |
| 【新】空き家発生未然防止事業 | 160万円 |
| 空き家発生を未然に防止するための普及啓発の実施 | |
| 空き家コーディネーター設置、除却費への支援、官民連絡協議会開催 | 646万円 |
| 【新】特別支援学校防犯対策事業 | 1,300万円(教委) |
| 特別支援学校全校に防犯カメラ、監視モニター等を設置 | |

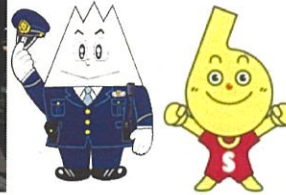
犯罪被害者等の支援

| | |
|------------------------------------|-----------|
| ・ 犯罪被害者等支援推進事業 | 138万円 |
| 関係機関等の職員を対象とした研修会等の実施 | |
| 【新】性暴力被害ワンストップ支援センターとやま運営事業 | 2,046万円 |
| 24時間365日対応のセンターの運営、医師等を対象とした研修会の開催 | |
| ・ 民間被害者支援団体基盤強化事業 | 775万円(警察) |
| 支援員の拡充等による中長期にわたる被害者支援活動の拡充・強化 | |
| ・ 犯罪被害者への相談・カウンセリング体制等の整備 | 671万円(警察) |

くらしの安全の確保

| | |
|-------------------------------------|----------------|
| 交通安全 | |
| 【拡】シルバードライビングスクール事業 | 400万円(警察) |
| ドライブレコーダーを活用した高齢者への交通安全教育の拡充 | |
| 【新】サボカー体験型交通安全教室開催事業 | 200万円 |
| 自動ブレーキ等の搭載車を活用した交通安全教室の実施 | |
| 【拡】チャイルドシート適正使用等啓発事業 | 60万円 |
| ファストフード店のトレイマット等を使用した啓発活動の実施 | |
| 【新】可搬式自動速度違反取締装置整備事業 | 1,080万円(警察) |
| ・ 子どもの登下校安全対策推進事業 | 211万円(教委) |
| ・ 交通安全施設整備事業(一部2月補正) | 4億円(警察) |
| ・ 通学路等における歩道の整備(一部2月補正) | 35億4,095万円(土木) |
| 消費生活 | |
| ・ 地方消費者行政推進交付金事業 | 3,452万円(生環) |
| 相談窓口の整備・充実、県消費者教育推進計画の推進等 | |
| その他 | |
| ・ 医療機関DV対策強化事業 | 120万円 |
| DV被害者支援強化のための医療関係者向け研修会の開催 | |
| 【拡】サイバーセキュリティ戦略事業 | 288万円(警察) |
| IoT、AIなど第4次産業革命を見据えたサイバーセキュリティ戦略の推進 | |

安全・安心なまちづくり



| | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ・ 刑法犯認知件数 | |
| ①9 10,648件 | ⇒ ②9 5,330件(16年連続で減少) |
| ・ 重要犯罪犯罪率 | |
| 人口10万人当たり2.4件(平成28年 全国1位) | |
| ・ 地区安全なまちづくり推進センター数 | |
| ①9 74か所 | ⇒ ②9 206か所 |
| ・ 青色回転灯装備パトロール車両数 | |
| ①9 200台 | ⇒ ②9 546台 |
| ・ 交通事故死者数 | |
| ②9 37人 | (平成以降で最少) |
| ・ 交通事故発生件数 | |
| ②9 3,238件 | (17年連続で減少) |
| ・ 交通事故負傷者数 | |
| ②9 3,769人 | (17年連続で減少) |
| ・ 出火率(人口1万人当たりの出火件数) | |
| ①9 2.28件 | ⇒ ②9 1.71件 |
| | 26年連続全国最小(H3~H26) |

災害に強いまちづくり

| | |
|---------------------------------------|-----------------|
| 公共土木施設 | |
| ・ 橋りょうや海岸保全施設・港湾施設等の耐震化 | 7億2,946万円(土木) |
| ・ 農地防災・治山事業(一部2月補正) | 80億2,908万円(農林) |
| ・ 治水・土砂災害対策施設等の整備(一部2月補正) | 131億1,898万円(土木) |
| ・ 冬期における道路交通の確保(一部2月補正) | 52億5,801万円(土木) |
| 耐震化 | |
| ・ 木造住宅耐震診断・改修支援事業 | 6,136万円(土木) |
| ・ 私立学校地震対策緊急整備支援事業(県単補助(1/6)の上乗せ・1園分) | 1,083万円 |
| ・ 大規模建築物耐震改修支援事業 | 3,500万円(土木) |
| 災害時活用協定を締結する耐震診断義務付け民間建築物の耐震改修を促進 | |

危機管理・消防防災体制の充実

| | |
|--|-------------------|
| 消防防災体制 | |
| ・ 広域消防防災センターの管理・運営 | 1億6,706万円 |
| 【新】消防防災ヘリコプター更新事業 | 2,275万円 |
| ヘリコプターテレビ電送システム(地上設備)更新工事の実施設計 | |
| 【新】災害時受援計画策定事業 | 100万円 |
| 防災教育・地域防災力 | |
| 【新】全国消防操法大会支援事業 | 900万円 |
| 【新】四季防災館地震体験装置プログラム拡充事業 | 270万円 |
| ・ 住宅密集地域での火災予防等モデル事業 | 400万円 |
| ・ 消防研究センターとの共同研究 | 300万円 |
| 【拡】女性や若者をはじめとする消防団加入促進事業 | 500万円 |
| 学生消防団員の資質向上など | |
| ・ 消防団活動活性化補助金 | 400万円 |
| ・ 女性消防団員・機能別団員導入ステップアップ事業 | 200万円 |
| ・ 広域消防防災センターフェスティバル開催事業 | 150万円 |
| 【新】学校安全教育推進事業 | 100万円(教委) |
| 学校安全教育推進委員会の開催、学校安全アドバイザーの派遣 | |
| ・ シェイクアウトとやまの実施 | 51万円 |
| 地震発生時の落下物等から身を守る訓練を県下一斉に実施 | |
| ・ 富山県総合防災訓練の実施 | 203万円 |
| 9月に氷見市、高岡市、射水市において、実践的な訓練を実施 | |
| 【拡】地域防災力向上支援事業 | 3,300万円 |
| 自主防災組織が実施する津波・洪水対策の資機材整備等を支援 | |
| 【拡】防災士養成事業 | 232万円 |
| ・ 災害救援ボランティア事業 | 164万円 |
| 火山対策 | |
| 【拡】弥陀ヶ原火山活動調査研究事業 | 200万円 |
| 火山ガス等の噴出状況等火山活動のモニタリングを充実(2か所→7か所) | |
| ・ 弥陀ヶ原火山防災啓発事業 | 100万円 |
| ・ 火山防災協議会の開催 | 80万円 |
| 【新】「立山黒部」エリアにおける通信インフラ整備事業 | 1億3,700万円 |
| 携帯電話不感地帯や食堂周辺のWi-Fi未整備スポットの解消等(総経・経管・教委) | |
| 原子力 | |
| ・ 原子力災害対策事業 | ※国の交付金を活用 2億100万円 |
| 【新】住民避難方法等調査、地区毎の参集訓練、原子力防災訓練の実施 | |
| 放射線監視体制の強化、原子力防災資機材の整備等 | |
| その他危機管理 | |
| 【拡】国民保護共同実動訓練の実施 | 640万円 |
| ・ 新興・再興感染症総合対策強化事業 | 568万円(厚生) |
| エボラ出血熱・MERS等に対応する体制整備等 | |
| ・ 家畜伝染病防疫体制強化整備事業 | 897万円(農林) |
| 疾病の早期診断、まん延防止に必要な検査機器の整備など | |
| 【新】山岳警備救助活動強化事業 | 500万円(警察) |
| 立山黒部の世界ブランド化に向けた山岳警備体制の強化 | |
| 【新】富山県防災・危機管理センター(仮称)棟建設事業 | 2億8,600万円(経管) |